

 YAMAHA	ヤマハ船外機カバー 取付・取扱説明書	適応機種 ヤマハ4サイクル船外機
-------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------	-----------------------------

はじめに

❑お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい取付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

❑販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

適 応 機 種 一 覧 表

適 応 機 種	部 品 番 号	材 質
F8C/F9.9F/F9.9J	90790-83098	天面：ポリエステル100 % スパン系（紡績糸） 染色 & 撥水コーティング
F15C/F20B	90790-83099	
F25D/F30B/F40F	90790-83100	
F50F/F60C	90790-83101	
F50H/F60F/F70A	90790-83102	側面：ポリエステル100 % スパン系（紡績糸） 染色 & 撥水コーティング
F80B/F90B/F95A/F115A	90790-83103	
F115B	90790-83107	
F150A	90790-83104	天面裏生地：ポリエステル100 % フィラメント糸（長繊維） 撥水コーティング
F175A/F200F	90790-83106	
F225F/F250D/F300B	90790-83105	

取 扱 上 の ご 注 意

注意

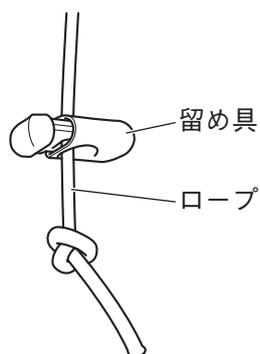
船外機や船外機カバーが破損する恐れがあるため、下記の項目は必ず守ってください。

- 船外機カバーを取り付けたままエンジンを始動しないでください。
- エンジン停止後、十分にエンジンが冷えてから船外機カバーを取り付けてください。
- 火気を近づけないでください。
- 風等で船外機カバーが飛ばされないように、止め具で確実に固定してください。
- 生地には撥水加工を施してありますが、完全防水ではありません。雨量によっては、船外機が濡れる場合があります。
- 耐紫外線に優れた染色材を使用していますが、繊維製品ですので太陽光に長期間さらされると変色が発生します。
- カバーが汚れたときは、水またはぬるま湯を柔らかい布かスポンジに染み込ませ、軽く洗い流してください。（船外機に被せたままでのお手入れや、洗濯機・高圧洗浄機の使用は避けてください。）
- 清掃するときは、中性洗剤以外の洗剤（ベンジン・シンナー等）を使わないでください。
- 船外機カバーはよく乾かしてから使用してください。

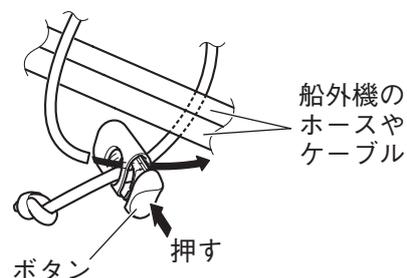
取 付 方 法

梱包状態

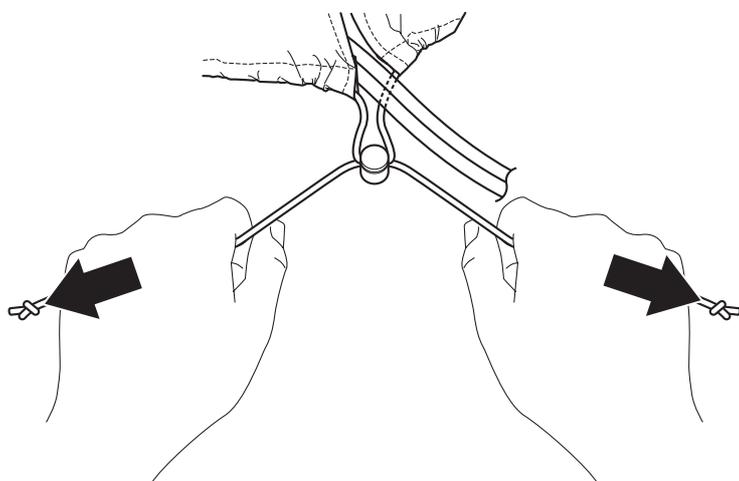
樹脂製の留め具が片側のロープに挿入され、ロープ端が結ばれています。(脱落防止)



1. 船外機カバーのロープ部が船外機のホースやケーブルの位置にくるように、船外機カバーを被せます。
2. ロープは船外機のホースやケーブルの下を通します。
3. ロープの両端が交差するように、留め具のボタンを押しながらもう片方のロープを留め具に通します。



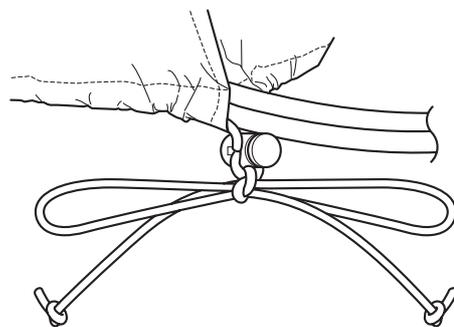
4. ロープを持ち、左右に引っ張ります。船外機カバーが固定されるまで引っ張ってください。



5. 余ったロープを結びます。

要 点

留め具と結びで二重の固定を施し、風のバタツキなどによるロープの緩みを防止します。



⚠ 警告

海上で船外機カバーを被せるときは、落水しないように十分注意してください。